

## 2017年埼玉県飯能市における爬虫類の記録

石井克彦（川の博物館）・佐藤浩一（ruderal inc.）・石井徹尚（学校法人自由の森学園）

筆者らは2016年に引き続き、2017年も埼玉県飯能市内においてヘビ類の観察を行い、記録を蓄積することができたので、ここに発表する。

埼玉県にはアオダイショウ、ヤマカガシ、シマヘビ、ジムグリ、シロマダラ、ヒバカリ、タカチホヘビ、ニホンマムシの8種類のヘビ類が生息している、飯能市には8種類すべてが生息していることを確認している（石井ほか、2017）。

### 調査方法

夜間（日没後）、車両を用いて車道をゆっくりと走行し、目視により確認。また、車両の通行ができない車道や林道では徒歩による調査も併せて行った。調査期間は4月から11月の8か月間。発見後、計測できるものは計測した。その場で計測できなかつたものなどは定規をヘビの近くにおいて撮影し、おおよその全長を求めている。確認地点は「Googleマップ」に情報共有し、蓄積した。

調査対象とした地域は飯能市全域である。

### 結果

調査では55例のヘビ類を確認することができた（表1, 2）。そのうち轢死体（DOR:Dead On Road）として確認されたのは21例であった。ヘビの種数が最も多かつたのは飯能市荻生でシロマダラを除く7種類であった。次いで小岩井がヤマカガシとシマヘビを除き6種類であった。

DORの最も多かつた地域は小岩井であった。次に多かつたのは荻生であった。

DORが最も多かつた月は5月であった。ヘビの種類で最も被害にあつていたのはアオダイショウ（7例中5例）であった。

ヘビの出現で最も早かつたのはシロマダラ5月10日であった。最も遅い記録はニホンマムシ10月28日であった。

### 考察

2016年もDORを確認していたが（石井ほか、2017）2017年もヘビが轢かれている現状を確認することができた。DORが最も多く確認されたのは小岩井と荻生であるが、筆者の一人が頻繁に利用する道路であるためと考えられる。両地区は入間川の南の丘陵にあたり、小規模な沢が流れ、休耕田や畑、雑木林やスギの植林地などの様々な環境がある、環境の多様性によりヘビが多く生息し、交通事故に遭遇する機会も多いと考えられた。DORはその他の地域でも発生していると思われるが、市街地と比べ、自動車の往来がそこまで多くないと考えられる小岩井・荻生地区でこれほどのDORが発生していることは驚きであった。ヘビ以外にもモリアオガエルやヤマカガエルなどが轢かれているのが確認され、小動物のDORの実態を再確認することができた。

データ全体を見るとシマヘビとヤマカガシを除く6種類のDORが5月に発生していた（21例中9例）。

特記事項としてはタカチホヘビを23例確認できたことである。

### 謝辞

調査に協力、助言いただいた山田瑠璃氏、情報をいただいた木村栄二氏に謝意を表す。

### 参考文献

- 飯能市史「飯能の自然-動物」（1985）飯能市。
- 埼玉県レッドデータブック2008（2008）埼玉県。
- 野外観察のための日本産爬虫類図鑑（2016）関慎太郎 緑書房。
- 石井克彦、佐藤浩一、石井徹尚（2017）2016年飯能市における爬虫類の記録。紀要、17：13-17。

表1 確認したヘビ類の詳細

## 飯能市大字阿須

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
ニホンマムシ	20170610		不明	53395296
シマヘビ	20171010	DOR	25cm	53395296
シロマダラ	20171010	DOR	40cm	53395296

## 飯能市大字上直竹下分

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
アオダイショウ	20170524	DOR	20cm	53396118
ニホンマムシ	20170530	DOR	20cm	53396119

## 飯能市大字南川 子の権現

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
タカチホヘビ	20170607		30cm	53396194
タカチホヘビ	20170728		30cm	53396195
タカチホヘビ	20170729		35cm	53396194

## 飯能市大字南

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
シロマダラ	20170829		50cm	53396156
タカチホヘビ	20170829		15cm	53396185
タカチホヘビ	20170829		30cm	53396185

## 飯能市大字上名栗

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
ジムグリ	20170714		110cm	53396183

## 飯能市大字下赤工

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
タカチホヘビ	20170525		35cm	53396230
ニホンマムシ	20170618		40cm	53396230
ヤマカガシ	20170708	DOR	75cm	53396230
タカチホヘビ	20170731		30cm	53396230
タカチホヘビ	20170816		25cm	53396230
アオダイショウ	20170818	DOR	45cm	53396230

## 飯能市茜台

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
ニホンマムシ	20170706		不明	53396223

## 飯能市大字原市場

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
シロマダラ	20170831		15cm	53396240

## 飯能市大字長沢 顔振峠

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
タカチホヘビ	20170713		25cm	53397119
タカチホヘビ	20170713		30cm	53397200

## 飯能市大字小久保 学校田んぼ

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
アオダイショウ	20170531		150cm以上	53396247

## 飯能市大字苜生

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
タカチホヘビ	20170525		20cm	53396221
アオダイショウ	20170531	DOR	40cm	53396221
アオダイショウ	20170607		35cm	53396222
ヤマカガシ	20170607		35cm	53396222
シマヘビ	20170724		不明cm	53396221

## 飯能市大字苜生

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
ヒバカリ	20170525	DOR	35cm	53396212
ジムグリ	20170619	DOR	40cm	53396212
ニホンマムシ	20170704	DOR	45cm	53396212
ニホンマムシ	20170720	DOR	40cm	53396220
タカチホヘビ	20170728		25cm	53396212
タカチホヘビ	20170824		30cm	53396212

## 飯能市大字平戸 東峠北

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
シロマダラ	20170510	DOR	25cm	53396260
タカチホヘビ	20170708		25cm	53396260
タカチホヘビ	20170728		30cm	53396260
タカチホヘビ	20170817		30cm	53396260
タカチホヘビ	20170817		25cm	53396260
タカチホヘビ	20170817		30cm	53396260
タカチホヘビ	20170823		25cm	53396260
タカチホヘビ	20170823		25cm	53396260
ニホンマムシ	20171028		20cm	53396260

## 飯能市大字小岩井

	日にち	状態	大きさ	3次メッシュ
ジムグリ	20170514	DOR	35cm	53396231
ニホンマムシ	20170517		40cm	53396231
シロマダラ	20170522		50cm	53396231
ヒバカリ	20170523	DOR	45cm	53396221
タカチホヘビ	20170530	DOR	30cm	53396231
アオダイショウ	20170531	DOR	35cm	53396231
ヒバカリ	20170619		45cm	53396231
タカチホヘビ	20170707	DOR	15cm	53396231
ヒバカリ	20170707	DOR	35cm	53396231
ニホンマムシ	20170814	DOR	不明cm	53396231
タカチホヘビ	20170822	DOR	30cm	53396231
アオダイショウ	20170824	DOR	50cm	53396232

表2 確認したヘビ類例数

タカチホヘビ	( <i>Achalinus spinalis</i> )	23例	ジムグリ	( <i>Euprepiophis conspicillatus</i> )	3例
アオダイショウ	( <i>Elaphe climacophora</i> )	7例	シマヘビ	( <i>Elaphe quadrivirgata</i> )	2例
ヒバカリ	( <i>Amphiesma vibakari vibakari</i> )	4例	ヤマカガシ	( <i>Rhabdophis tigrinus</i> )	2例
シロマダラ	( <i>Dinodon orientale</i> )	5例	ニホンマムシ	( <i>Gloydius blomhoffii</i> )	9例